

ダビデの幕屋とは何か？ パート 2

I. モーセの幕屋との比較

●モーセの幕屋に見る「感謝・賛美・礼拝」の7つのステップ

(外側)

- ① 門
- ② 青銅の祭壇
- ③ 青銅の洗盤

(聖所)

- ④ 金の供えのパンの机
- ⑤ 金の燭台
- ⑥ 金の香壇

(至聖所)

- ⑦ 契約の箱

●ダビデの幕屋

外庭とその飾りは存在しない。

垂れ幕がない。

- ① 契約の箱

その周りにあったものが、24 時間 7 日間の賛美。

歌うたい達と楽器の演奏者たちの大集団とそこにおける秩序（賛美の賜物と技術的に訓練された賛美チーム）

預言的賛美、楽器での預言的演奏、霊の歌、喜び、叫び、ダンス、クルクル回る、手を上げる、手をたたく

II. ダビデの幕屋の感謝、賛美、礼拝のステップ（神の御国を自分の人生に）

1. 感謝（詩篇 95:1-2）

- ① 祈りの時間や礼拝でイエス様に感謝を捧げることによって御前に行くことが出来る。
ヘブル 10:19
ヘブル 11:1

- ② 神様が素晴らしいので感謝する。
詩篇 106:1
- ③ 神に感謝を捧げ始めると、神の臨在の中に入っていくことができる。私たちの状況が良くない時でもまず信仰により感謝し始め、神の臨在に入っていかなければ癒しや祝福を経験することが出来ない。
- ④ 感謝が最初のステップ。神に近づく時、神の力に近づいているから。

2. 賛美（詩篇 95:3-5）

- ① 私たちは先ず神の素晴らしさのゆえに感謝しますが、次は神の偉大さゆえに賛美を捧げます。
- ② 賛美は私たちを神の御前に連れて行きます。私たちは体と魂を持って、神への感謝と賛美を現します。
- ③ 私たちは手をあげ、叫び、歌い、クルクル回り、踊り、楽器を演奏し、感情を注ぎだして、神の御前に行きます。
I 歴代誌 15:28-29
II サムエル 6:16、20-23
- ④ 感謝と賛美は私たちの口から解き放たれます。

3. 礼拝（詩篇 95:6-11）

- ① 神の素晴らしさのゆえに神に感謝するために、神の御前に行く。その偉大さを賛美することによって、神に近づく。礼拝することによって、神の聖さの中に入っていく。
- ② 礼拝は神の聖さに対する私たちの応答です。その素晴らしさのゆえに神を賛美する時に啓示を受ける。
- ③ 深い啓示がなくても口によって感謝し賛美することは出来るが、礼拝は口先ではなく心から来るもの。

- ④ 礼拝がないのは自己があるから。感謝と賛美は自己から解放し、主に心を向け礼拝できるようにする。
- ⑤ 礼拝は神の御声をいつも明確に聞けるようにする。
- ⑥ 礼拝には平安と静寂がある。イエスの声を聞く時にだけ、私たちはイエス様について行くことができる。(ヨハネ 10:27)
- ⑦ 神の前で静まり、御声を聞くのは自分の選択。
- ⑧ まことをもって礼拝するとは、真の悔い改めがあること。(ヨハネ 4: 21-24)
- ⑨ 霊をもって礼拝するとは心から礼拝するという意味。
- ⑩ まことによっては、御言葉に沿って礼拝すること。神は御言葉によってどのように礼拝するかを決めておられる。
- ⑪ 自分ではなく、神は今何を思っておられるのか？を考える。
- ⑫ 感謝と賛美は神の家の外側で行われるが、礼拝は神のみもとへ行くもの。礼拝の領域に来るまでは、神の御声は本当に聞けない。